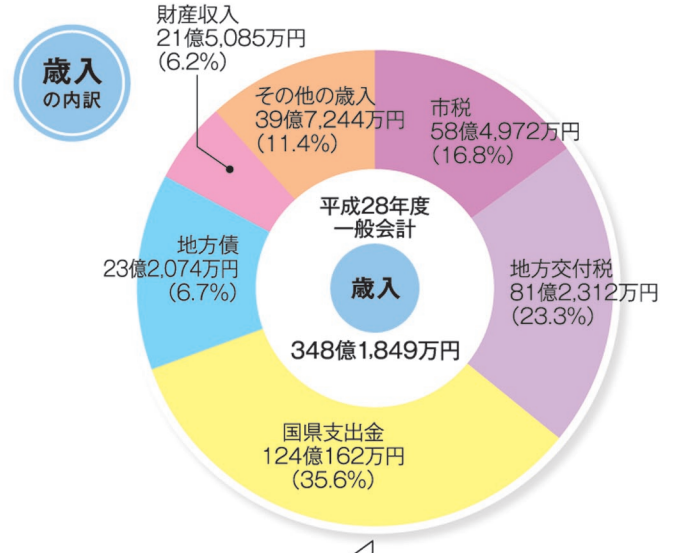
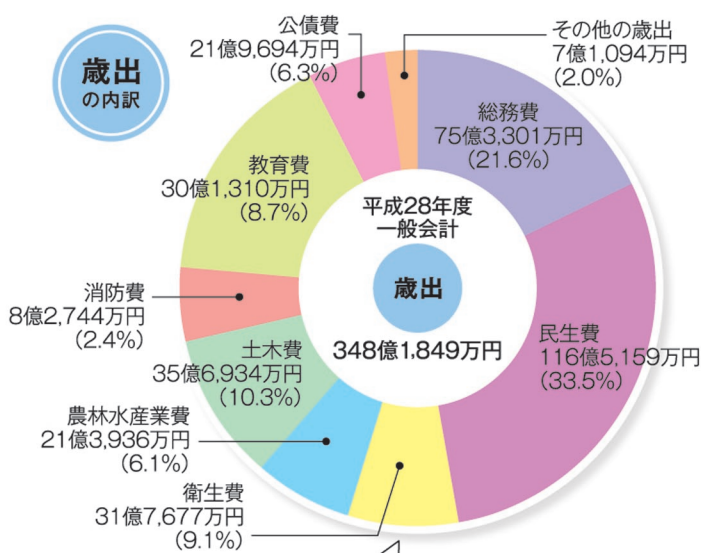


# 平成28年度 一般会計

## 当初予算額 **348億 1,849万円**

(対前年度比9.0%減、34億5,689万円減)

学校耐震化事業や消防庁舎建設事業の減などにより、前年度と比べて34億6千万円減額となりました。



・総務費	75億3,301万円
・民生費	116億5,159万円
・衛生費	31億7,677万円
・農林水産業費	21億3,936万円
・土木費	35億6,934万円
・消防費	8億2,744万円
・教育費	30億1,310万円
・公債費	21億9,694万円
・その他	7億1,094万円

・市税	58億4,972万円
・地方交付税	81億2,312万円
・国県支出金	124億162万円
・地方債	23億2,074万円
・財産収入	21億5,085万円
・その他	39億7,244万円

## 当初予算に計上された主な事業

●金融・IT産業等集積基盤整備事業(みらい5号館)(北連\*) 予算額 **10億 8,181万円**

金融・情報通信国際都市構想で位置づけた特区関連企業の集積を図る施設整備を実施することにより、特区関連企業の集積促進及び雇用拡大による地域全体の所得向上に向けた産業振興を推進します。  
\*北連とは、沖縄北部連携促進特別振興事業の略です。

●防災情報伝達システム整備事業 予算額 **5億 6,568万円**

防災情報伝達システムの整備をおこなうことにより、市民がいち早く防災情報を取得できるしくみを構築します。

●法人保育所施設整備事業助成費 予算額 **2億 41万円**

待機児童解消や保育サービスの向上を目的として、法人保育所の新設などに係る補助を行います。

●屋我地小中一貫校校舎改築事業(小学校) 予算額 **4,649万円**

小中一貫教育の推進を図ることを目的とし、より教育効果を高めるため、屋我地小学校側に施設一体型校舎の施設整備を行います。

●沖縄子供の貧困緊急対策事業 予算額 **3,206万円**

沖縄県は、一人当たりの県民所得が全国最下位であり、貧困の中で暮らす子どもの割合が全国と比較してかなり高いものとなっています。全国に比べて特に深刻な沖縄の子どもの貧困に関する状況に緊急に対応するため、実情を踏まえた事業をモデル的・集中的に実施します。

# 歳出予算を別の視点でみると…

## 義務的経費

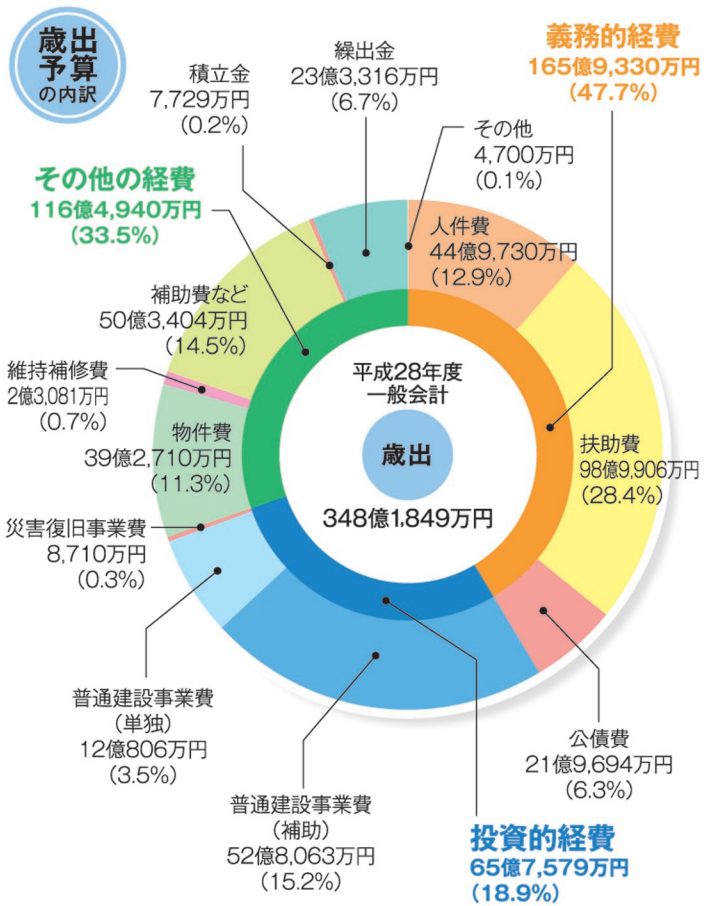
- ・人件費…………… 44億9,730万円
- ・扶助費…………… 98億9,906万円
- ・公債費…………… 21億9,694万円

## 投資的経費

- ・普通建設事業  
補助事業費…………… 52億8,063万円  
単独事業費…………… 12億806万円
- ・災害復旧費…………… 8,710万円

## その他の経費

- ・物件費…………… 39億2,710万円
- ・維持補修費…………… 2億3,081万円
- ・補助費など…………… 50億3,404万円
- ・積立金…………… 7,729万円
- ・繰出金…………… 23億3,316万円
- ・その他…………… 4,700万円



# 名護市の予算を1カ月の家計にたとえると…

※予算額100億円=家計10万円

## 収入

基本給(市税)	58,497円
諸手当(財産収入、使用料、手数料など)	35,673円
親からの助成	221,623円
(国県支出金)	
(地方交付税)	
(交付金、譲与税など)	
貯金の取り崩し(繰入金)	9,185円
銀行からの借入(地方債)	23,207円

月計 **348,185円**

## 支出

食費(人件費)	44,973円
医療費など(扶助費)	98,991円
家のローン返済(公債費)	21,969円
家の増改築など(投資的経費)	65,758円
光熱水費(物件費)	39,271円
住宅や家電の修理費(維持補修費)	2,308円
学費、各種会費など(補助費など)	50,340円
子どもへの仕送り(繰出金)	23,332円
その他	1,243円

月計 **348,185円**

## 特別会計 予算

国民健康保険特別会計	96億1,179万円
介護保険特別会計	43億6,046万円
公共下水道事業特別会計	11億5,882万円
後期高齢者医療特別会計	4億2,678万円
第二地区土地区画整理事業特別会計	1億7,142万円

## 水道事業 会計予算

	歳入	歳出
収益的収支	18億4,276万円	16億6,453万円
資本的収支	2億7,766万円	10億3,072万円